

# わかもの農村大学

## 平成27年受講生募集

### わかもの農村大学とは…

今、日本の農山村は危機的状況にあります。

少子高齢化、過疎化による若者人口の減少。それによる農村文化の衰退・消滅。

それは、農山漁村がなくなってだけでなく日本人の心を失うことを意味すると考えています。

そんな危機的な状況を解決するため、農山漁村の文化や歴史、産業や暮らしなどを知り、感じ、考え、そして、農山漁村とつながっていくための場として「わかもの農村大学」を設立いたしました。

わかもの農村大学は、「日本人の心を次の世代に。」そんな意欲ある若者を求めています。

### 平成27年度 前期カリキュラムと開催地

#### 第1回 竹田キャンパス

テーマ

#### 里山の農業と自然

中山間地は里山の景観が残り、豊かな自然環境が残っています。  
水生生物を通して自然の豊かさを知り、感じて、  
自然のことについて考えます。  
また、そばの栽培を通じて中山間地の農業に触れます。

開催日

7月19日(日)～20日(月・祝)

平成27年度 テーマ

#### わかものがつなく 新しい”わ”

#### 第3回 殿下・越廼キャンパス

テーマ

#### 竹文化と漁村料理

森林と同様に人々の生活を支えてきた竹林。  
人々は、竹を使っているいろいろなものを作り、使ってきました。  
そんな竹文化に触れたいと思います。  
また、越廼では、漁村の料理を通じて、漁村の人々の生活に触れます。  
竹と漁村料理の文化を知り、感じて、里山と里海のつながりを考えます。

開催日

9月5日(土)～6日(日)

#### 第2回 あわらキャンパス

テーマ

#### 鎮守の森と伝統芸能

神社とそれを囲む鎮守の森は日本人の精神性を表すものであり、  
農村のなくてはならない場所です。  
鎮守の森の保全とそこに根づく伝統芸能・しし舞に触れることで、  
鎮守の森と日本人とのかかわりについて知り、感じて考えます。

開催日

8月22日(土)～23日(日)

各カリキュラムの詳細・お申し込みについては中面をご覧ください。

本活動は公益財団法人トヨタ財団の助成を受けて行っております。

## 第1回 竹田キャンパス

# 里山の農業と自然

中山間地は里山の景観が残り、豊かな自然環境が残っています。  
水生生物を通して自然の豊かさを知り、感じて、自然のことについて考えます。  
また、そばの栽培を通じて中山間地の農業に触れます。

7月19日(日)～20日(月・祝)

- 活動拠点 竹田ラボ
- 活動フィールド 坂井市・竹田地区
- 参加費 2,500円(実習費用として)
- 宿泊費 4,500円(夕・朝食込)
- 集合・解散 JR福井駅 — 集合 10:30 / 解散 16:30  
現地 — 集合 11:30 / 解散 15:30
- 実習 そば栽培体験、水生生き物調べ
- 講義 里山の水辺の生き物について

コーディネーター

農武士ネットワーク代表  
三田村 美恵



竹田地区地域おこし協力隊  
石田 貴久



## 第2回 あわらキャンパス

# 鎮守の森と伝統芸能

神社とそれを囲む鎮守の森は、日本人の精神性を表すものであり、農村のなくてはならない場所です。鎮守の森の保全とそこに根づく伝統芸能・しし舞に触れることで、鎮守の森と日本人とのかかわりについて知り、感じ・考えます。

8月22日(土)～23日(日)

- 活動拠点 藤の宿
- 活動フィールド あわら市・本荘地区
- 参加費 2,500円(実習費用として)
- 宿泊費 4,500円(夕・朝食込)
- 集合・解散 JR芦原温泉駅 — 集合 10:30 / 解散 16:30  
現地 — 集合 11:30 / 解散 15:30
- 実習 しし舞体験、鎮守の森の保全実習
- 講義 農村における神社の役割

コーディネーター

RE:SCCOVERY FUKUI  
藤田 侑平



## 第3回 殿下・越廼キャンパス

# 竹文化と漁村料理

森林と同様に人々の生活を支えてきた竹林。人々は、竹を使っていろいろなものを作り、使ってきました。そんな竹文化に触れたいと思います。また、越廼では、漁村の料理を通じて、漁村の人々の生活に触れます。竹と漁村料理の文化を知り、感じて、里山と里海のつながりを考えます。

## 9月5日(土)～6日(日)

- 活動拠点** 殿下未来工房
- 活動フィールド** 福井市殿下地区・越廼地区
- 参加費** 2,500円(実習費用として)
- 宿泊費** 4,500円(夕・朝食込)
- 集合・解散** JR福井駅 ― 集合 10:30 / 解散 16:30  
現地 ―― 集合 11:30 / 解散 15:30
- 実習** 竹細工体験、漁村料理体験、定置網漁体験
- 講義** 漁村の料理文化について



### コーディネーター

ふくいエコ・  
グリーンツーリズム・  
ネットワーク

山口 哲弘



殿下被災者受入委員会  
堂下 雅晴



越廼地区地域おこし協力隊  
櫻井 英佑



## 諸注意

### 参加について

宿泊については、宿泊する・宿泊しないが選択できます。宿泊希望欄に○を付けて下さい。  
2日間のうちどちらか1日のみの参加も可能です。その場合は、備考欄に参加される日を記載ください。  
また、宿泊しないけど夕食は食べたいな。。。というご要望もありましたら備考欄に記載ください。

### 送迎について

各キャンパスより最寄りの駅までの送迎を行います。送迎希望欄に○をご記入ください。  
なお、日帰りでの参加の場合は、運営の都合上送迎の対応ができかねますので予めご了承ください。

### 申込方法

裏表紙下段の申込書をわかもの農村大学事務局までFAXまたは郵送にてお送りください。  
また、同じ内容を記載いただければ、メールでお送りいただいても構いません。

### 申込〆切り

各開催日初日の3日前までとなります。  
(ただし、開催日初日の7日前以降にお申し込みの場合は一度ご連絡ください)

その他、ご不明な点、ご要望などありましたら  
お気軽にわかもの農村大学事務局までお問合せ・ご連絡ください。



お問合せ先

## わかもの農村大学 事務局

〒 910-0005 福井県福井市大手 2-16-37 福井市自然体験交流推進協議会内

TEL 0776-21-2216 / FAX 0776-24-8603

E-mail [green@kyougaku.com](mailto:green@kyougaku.com)

H P <http://wakamono-nouson.jimdo.com>

Facebook <https://www.facebook.com/wakamono.nouson>

参加申込書

参加希望	第1回 (7/19 ~ 20)	第2回 (8/22 ~ 23)	第3回 (9/5 ~ 6)	送迎希望	希望する ・ 希望しない
				宿泊希望	希望する ・ 希望しない
フリガナ				TEL	
名前				E-Mail	
年齢	歳	性別	男 ・ 女	所属	
住所					
備考					

わかもの農村大学 事務局 FAX 0776 - 24 - 8603